



**ROCK PAINT**

ホルムアルデヒド放散等級区分

**F☆☆☆☆**

居室内で無制限に使用できます

# 1液弱溶剤型塗料 シリーズ

弱溶剤1液架橋型低汚染リアルハイブリッド  
シリコン樹脂塗料

## 1液ユメロックDX

弱溶剤1液架橋型NADウレタン樹脂塗料

## ダイナロック®Ⅲ



**ロックペイント 株式会社**

# 1液弱溶剤型塗料シリーズ

弱溶剤1液架橋型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料

弱溶剤1液架橋型NADウレタン樹脂塗料

## 特長

## 1液ユメロックDX

## ダイナロックⅢ

1

### 高耐候性

～ラジカルコントロール技術 (1液ユメロックDX)～

特殊コーティングチタン(ホワイト)顔料とラジカル吸着安定剤(HALS)によるラジカルコントロール技術で、すぐれた耐候性を実現します。

2

### 低汚染性

～帯電防止モノマー配合 (1液ユメロックDX)～

帯電防止モノマー配合により、雨水などのセルフクリーニング効果で、汚れを寄せ付けにくい塗膜を形成します。

3

### マイルドな匂い・1液型・経済性

塗装中、乾燥中は匂いがマイルドで、硬化剤を配合しないため非常に使いやすく、配合ミスや廃棄のムダがありません。

4

### 仕上がり良好・高光沢

塗膜の肌は滑らかで、光沢にすぐれます。

5

### F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆のため、屋内にも制限なく塗装できます。

6

### 環境配慮型

鉛・クロムなどの重金属を原料として配合しない安心設計です。

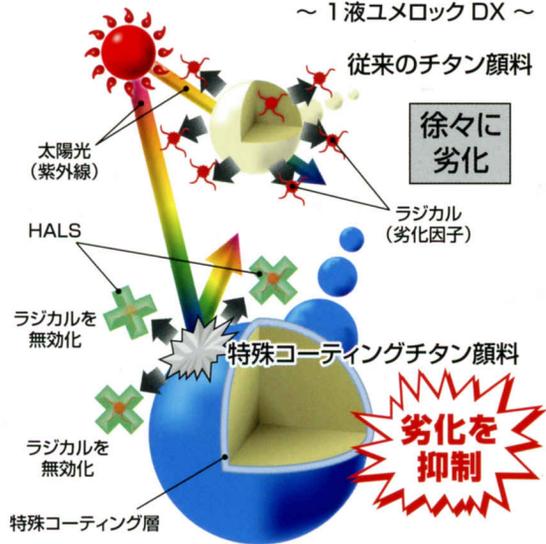
7

### 防藻・防カビ性

藻やカビの発生を抑え、長期間にわたり清潔な住環境を維持します。

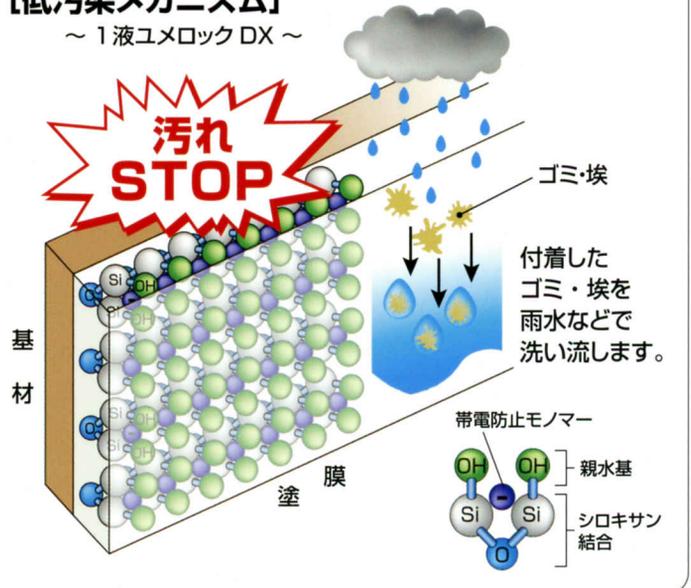
### 【ラジカルコントロールメカニズム】

～1液ユメロックDX～



### 【低汚染メカニズム】

～1液ユメロックDX～



## 用途

- 戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築物内外壁面、金属面、破風、雨どいなどの上塗り。
- 各種旧塗膜など塗り替え用上塗り。

## 被塗物素材

- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、ALC、鉄・非鉄金属部、木部、FRP、硬質塩びなど。

## 商品構成

024ライン	<b>1液ユメロックDX</b>	容量 / 15kg (ホワイト・原色・調色品) 3kg (原色・調色品)
018ライン	<b>ダイナロックⅢ</b>	容量 / 15kg (ハイホワイト・破風チョコ[常備色]・一部原色・調色品) 3kg (原色・調色品)

## 塗装仕上用提案色

建物壁面によく使われている色で、実用性の高い色を選定しています。



↑ RP-210 (5Y9/2)



↑ RP-220 (7.5Y9/1)



↑ RP-216 (CW111)



↑ RP-212 (5Y9.2/1)



↑ RP-201 (CW710)



↑ RP-204 (2.5Y8.5/1.5)



↑ RP-213 (5Y8.5/1)



↑ RP-311 (CW56)



↑ RP-215 (5Y8.5/3)



↑ RP-200 (CW331)



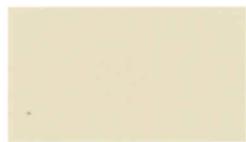
↑ RP-230 (10Y8/1)



↑ RP-310 (5GY8.5/0.5)



↑ RP-205 (2.5Y8/4)



↑ RP-130 (10YR8/2)



↑ RP-202 (2.5Y8/1)



↑ RP-N80 (N8)



↑ RP-136 (10YR7.5/6)



↑ RP-132 (10YR7.5/2)



↑ RP-214 (5Y7.5/1.5)



↑ RP-N75 (N7.5)



↑ RP-100 (2.5YR7/6)



↑ RP-203 (2.5Y7/2)



↑ RP-211 (5Y7/1)



↑ RP-131 (10YR7.5/0.5)



↑ RP-020 (7.5R7/6)



↑ RP-110 (5YR7/4)



↑ RP-137 (10YR6.5/2)



↑ RP-N70 (N7)



↑ RP-231 (10Y7.5/4)



↑ RP-120 (7.5YR7/4)



↑ RP-135 (10YR6/1)



↑ RP-630 (10B5/2)



↑ RP-320 (7.5GY6/2)



↑ RP-134 (10YR6/4)



↑ RP-133 (10YR5/1)



↑ RP-N50 (N5)



↑ RP-810 (5P8/2)



↑ RP-121 (7.5YR5/2)



↑ RP-030 (10R3/3)



↑ 破風チョコ  
【ダイナロックⅢ常備色】

(注) ●この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・光沢に差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。  
また、塗料価格は色によって異なります。

●広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・光沢が見本帳と異なって見える場合があります。

●色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2023年9月)を守ってください。

# 標準塗装仕様

## 1. 窯業系サイディングボードなどの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエプロレックス、チョーキング部分、汚れなどは、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	032-2001 ロックSBファイラー	水 ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り① 又は 上塗り②	024ライン 1液ユメロックDX 018ライン ダイナロックⅢ	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 12時間以上

注) ●下塗りには他にエポシーラーマルチ、ロックカチオンシーラーマルチなどがああります。

## 2. コンクリート系外装材の塗り替え(可とう形改修塗材E使用)

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。また、エプロレックス、チョーキング部分、汚れなどは、高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	032-2106 ピニロック エラストックファイラーⅢ (可とう形改修塗材E)	水 ローラー : 5~10 エアレス : 5~10 砂骨ローラー : 1~5	1	0.3~0.5 0.8~1.5	8時間以上
上塗り① 又は 上塗り②	024ライン 1液ユメロックDX 018ライン ダイナロックⅢ	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 12時間以上

注) ●ピニロックエラストックファイラーⅢの塗装用具は上記の他にリジガン、タイルガンも使用できます。

## 施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 塗装中および塗後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するよう場所、用途での使用は避けてください。
- 雨降、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装は避けてください。
- 調色には必ず各ライン専用の原色塗料を、ロット間カラント3000(ベースの3%以内)を使用してください。
- 防露・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去及び防露・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 下塗りに2液型塗料を使用する場合、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種シンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとタレや色分けの原因になります。
- 溶接接合部や下塗りにはキズがある場合は、その部分が塗膜不良とならずに、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ピニロックエラストックファイラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをし、その後ならし塗りをし、塗り残しにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隣のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー塗後、塗装仕様の塗り重ね可能時間より早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラーを吸い込みの著しい部に塗装する場合、ぬれ感があまるまでを目安に塗装を行ってください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 塗装時の取り合い等で、可塑剤を含む鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接塗装は、塗膜が軟化するおそれがありますので避けてください。また塗膜がこれらの素材に接触・付着しないよう注意してください。
- 屋外セメント系塗料に段差や穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面など塗装の場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる場合があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗ることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リジン、弾性スタコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱しやすい建材(軽集モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱住宅の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてくるおそれがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックンタックプライマー-S」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また、補修が困難な場合はボアの張り替えをご検討ください。
- 比較的高圧な素材である押し出し成形板やGRC板へ塗装する場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ファコト処理をはじめ無機系や光触媒系の処理のサイディングボードには、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- カウンターテーブル、椅子、棚、床等への塗装は避けてください。
- 木部の塗装については木の材質等によるはがれ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りを実施し、確認してください。
- 内部の塗り替えで、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離することがあります。
- 木部塗装で釘頭には、サビカッシーラーを塗装してください。釘頭が錆びている場合は先にサンドペーパーを用いて錆を除去した後、サビカッシーラーを塗装してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈率を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分に性能が得られないことがあります。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時の口スを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプの塗料です。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、塗装間隔や塗付量、希釈率を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなるおそれがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が溜まる箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生することがありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を行ってください。

## 3. 鉄部・非鉄金属部の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは、電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	061ライン サビカッⅡ	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 0~10 エアレス : 10~20	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内
上塗り① 又は 上塗り②	024ライン 1液ユメロックDX 018ライン ダイナロックⅢ	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 12時間以上

注) ●下塗りには他に「サビカッⅡプラス」を使用することもできます。  
●新しい亜鉛メッキ鋼板の場合、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってから塗装してください。

## 4. 木部の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか、又は焼きコデで処理し、揮発油で拭き取る。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要となる場合は、ロックポリパテで穴埋めを行う。				
下塗り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内
上塗り① 又は 上塗り②	024ライン 1液ユメロックDX 018ライン ダイナロックⅢ	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 12時間以上

注) ●木部については、用途(カウンター、テーブル、椅子、棚、床等)により塗装に適さない場合がありますので、弊社営業所までお問い合わせください。

- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って塗装してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気が十分にあり、その後塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 外部の塗装については、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくると発熱し、自然発火のおそれがあります。使用済みウエス、塗料がたまり、スプレーダスト等は、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げた場合、塗膜の隠蔽性が異なる傾向にあるため、先に隠蔽性のよい灰色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。異なる色相で塗り重ねる際は、2層目の上塗り時に1層目の色のブリー(色の移行)が発生する場合があります。この場合、24時間(23℃)以上間隔をあけて、手早く塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および、健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意事項をお読みください。安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

## 安全衛生上及び取扱上の注意

- 【製品の危険・有害性】
  - 引火性の液体である。
  - 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
  - 目、皮膚、粘膜などに刺激性がある。
  - スプレーダストや塗料が付着したウエス等は発熱し、自然発火するおそれがある。
- 【急救処置】
  - 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
  - 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
  - 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
  - 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 【取扱注意事項】
  - 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
  - 塗装作業時には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
  - 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機溶剤防護マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を用いてください。
  - 取扱中ではできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
  - 取扱後は手洗いやうがいを十分にを行い、作業着などに付着した汚れをよく落とすしてください。
  - よくふらして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
  - 容器は中身を使い切った後廃棄してください。
  - 指定された以外の製品と混合しないでください。
  - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
  - 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
  - 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。
- 【施工後の安全性について】
  - 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うよう指導ください。
  - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。



東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000  
 大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区築島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000  
 札幌営業部 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一丁目3番34号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304  
 仙台営業部 / 〒983-0044 / 仙台市青葉区中央2丁目3番11号東正ビル201 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255  
 西関東営業部 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西郷1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112  
 名古屋営業部 / 〒454-0059 / 名古屋市千川区福山1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433  
 岡山営業部 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1261 FAX (086)294-6966  
 福岡営業部 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ丘3丁目2番5号 ☎(092)962-0601 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ https://www.rockpaint.co.jp

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。  
 また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店: